

2021年4月13日

千葉市長 神谷俊一 様

日本共産党千葉市議会議員団

新型コロナウイルス感染症対策強化のための（第14次）申し入れ

政府は、首都圏1都3県について緊急事態宣言を解除しましたが、感染再拡大の兆候が本市でも表れており、病床の逼迫と死者数の増加が続く深刻な状況です。また、感染力の強い変異株の流行も重大な懸念要素となっています。ワクチン接種は、コロナ収束にむけた有力な手段ですが、本市でも当初の予定より遅れる見通しで、社会全体での効果が表れるには、まだ一定の時間を要するとされており、ワクチン頼みの対応だけでは、深刻な感染拡大に見舞われる危険性を危惧します。

現状を打開するために、あらゆる手立てをとることが必要ですが、なかでも、無症状感染者を発見・保護するために、PCR等検査を抜本的に拡充することは急務です。政府は、3月5日に改定した基本的対処方針で、高齢者施設に対する社会的検査とともに、「再度の感染拡大の予兆や感染源を早期に探知するため、幅広いPCR検査等やデータ分析を実施する」ことを新たに明記しました。そこで、本市としても速やかに、コロナ封じ込めのための大規模検査を行うべきと考え、以下について緊急に要請をいたします。

1. 高齢者施設への無料・頻回PCR検査を、クラスター発生が多い医療機関・保育園・学校・子どもルームなどに対象を広げ、感染防御をはかること。
2. 千葉市での感染拡大第4波を抑え込むために、広島市のような、市内の薬局で無料検査キットを配布し、モニタリング検査を実施してほしいとの要望があることから、千葉市も大規模なPCR検査を実施すること。また、希望すれば無症状でも無料PCR検査ができる体制を早急に整備すること。
3. 神戸市では、新規陽性者69%をゲノム解析した結果、39%の検体から変異株が検出されており、本市にも不安が広がっていることから、千葉市でも当面50%以上のゲノム解析を実施して、早急に変異株患者の早期探知と感染状況の把握に努めること。また、市民に変異株感染状況について、情報を開示すること。
4. 変異株感染の検知には、下水の検査でも検出可能とされており、下水道の定期調査を実施し、コロナ対策に活かすこと。

5. 本市のワクチン接種については、その安全性を確認するとともに、ワクチン接種のスケジュールや接種手順など、「市政だより」だけでなく適切な周知活動を徹底すること。
6. ワクチンの集団接種施設が1か所だけであり、あまりにも少ない状況にある。迅速な接種完了に向けて少なくとも、各区に1か所は集団接種会場を設置して、迅速な接種に努めること。
7. 本市の病床状況は、ステージ4が続くなど逼迫が続いており、多くの入院調整者が発生している。変異株感染者の拡大に備えて、青葉病院と海浜病院の病床を増やすこと。民間医療機関での病床確保に対する財政支援を強化し、病床確保に向けた施策を講じること。
8. 緊急事態宣言が長引き、飲食店以外からも「事業継続が困難」との相談が寄せられており、中小企業事業継続給付金の要件を緩和・拡充して、再支給を図ること。
9. 生活困窮世帯、ひとり親世帯に対して、市独自の給付金を支給すること。
10. 中央コミュニティセンターの地下1階で執務する、保健福祉局職員のクラスターが危惧されており、本庁舎駐車場にプレハブを設置して、執務環境の向上を図ること。

以上